



令和6年5月14日

各位

会社名 アプライド株式会社
代表者名 代表取締役 岡 義治
(コード番号 3020)
問合わせ先 取締役 山口 圭介
電話 092-481-7801

令和6年3月期 通期連結業績予想と実績との差異及び
個別業績の前期実績との差異に関するお知らせ

令和5年5月12日に発表いたしました令和6年3月期の通期業績予想と実績に差異が生じたのでお知らせいたします。

1. 令和6年3月期連結業績予想と実績との差異（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想(A) (令和5年5月12日)	百万円 40,000	百万円 1,800	百万円 1,800	百万円 1,100	円 銭 406.94
当期実績(B)	42,819	2,124	2,142	1,210	447.80
増減額(B)－(A)	2,819	324	342	110	
増減率(%)	7.0	18.1	19.0	10.0	
(ご参考) 前期実績	38,606	1,737	1,753	1,098	406.51

2. 差異の理由

連結売上高については、コンピューターおよび付帯サービスの販売が想定の水準より高くなったことにより、計画値比で7.0%増加しました。営業利益、経常利益については、売上高の増加に伴う利益増等により、前回発表予想を上回ることとなりました。

3. 令和6年3月期の個別業績と前期実績値との差異（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期実績(A)	37,605	1,688	1,070	396.10
当期実績(B)	41,864	2,031	1,161	429.86
増減額(B)－(A)	4,259	343	91	
増減率(%)	11.3	20.3	8.5	

4. 差異の理由

売上高については、省力化等、デジタルシフトを背景とした企業のIT投資需要が底堅く推移したことにより、IT関連製品、付帯サービスの販売が伸長し、前期を11.3%上回りました。また損益面におきましても、売上高の増加に加え、自社製品の販売の伸長により、経常利益は前期を20.3%上回ることとなりました。

以 上